

INNOVATION FORUM

「超」技術者～Beyond our field～

2023 **7.14** 金
富士ソフトアキバプラザ

今回のフォーラムは
交流重視！

- 全セッション対談・質疑充実
- セッション後の交流会での相互刺激
- 仲間との参加も大歓迎

普段とは違う目線・自分を越えた多様な視点の掛け合わせこそイノベーションです。
リアルな場での交流や議論を通じて新しい発見をしに来ませんか？
視野を広げたい・広げさせたい方にもおすすめです。

主催

株式会社日本能率協会コンサルティング(JMAC)

開催日程

2023年7月14日(金)
【講演】13:00-17:00 【交流会】17:15-19:00

会場

富士ソフトアキバプラザ 5Fアキバホール

- ・JR線 秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- ・つくばエクスプレス線秋葉原駅 A3出口より徒歩1分
- ・東京メトロ日比谷線秋葉原駅 2番出口より徒歩3分

	申込項目	内容	参加料(消費税込み)	定員
1	会場参加 (講演+交流会)	<ul style="list-style-type: none">・講演・交流会両方へご参加可能です・録画配信も視聴可能です・5名様以上同時にお申込みいただいた場合、1名様分を無料とさせていただきます。(同時お申込み限定) ※交流会の参加を希望されない方は申込時にご記入ください	11,000円 (交流会参加費用を含む)	80名
2	録画配信のみ	<ul style="list-style-type: none">・開催後、録画配信にて講演を視聴可能です・当日の会場参加はできません・録画配信期間：2023年7月31日～9月29日	11,000円	100名

お申込みURL <https://meet.jmac.co.jp/rd2023>

問い合わせ先
株式会社日本能率協会コンサルティング
第26回R&Dイノベーションフォーラム事務局
E-mail : seminar1_jmac@jmac.co.jp



JMAC

JMAC公式ホームページ
トップからアクセス可能！

13:00-13:05 開会の挨拶(JMAC)

13:05-14:00 講演①

コンセプト×技術者 ～よりよい世界を描き・伝える力～



「技術や商品の価値を社内外に伝える」ために
技術者が超えるべきハードルは何か？ どう超えていけるのか？

顧客価値の多様化によって、商品や技術の魅力がお客様に伝わらないケースが往々にして起こります。また、昨今では我々の商品・事業がどのような社会価値をもたらすのかも問われています。本セッションでは、コピーライターの佐々木圭一氏をお招きし、対談や質疑応答を通じて、「技術者」がより良い世界を描き、届けるための心構えや新たな視点、その方法を考えていきます。

佐々木 圭一 氏

「伝え方が9割」著者
コピーライター／作詞家／上智大学
非常勤講師／株式会社ウゴカス代表

14:15-15:30 講演②

技術者が日本の国際競争力強化に貢献するためには ～米国・欧州から見える日本の技術部門の課題～

日本企業の違い・弱点は何なのか？

R&D部門は社内外に対して、何をどうリードすべきなのか？

日本の技術の国際競争力強化は長年の課題ですが、技術者・研究者は日々の業務に勤しむ中で、“国際競争力強化”について考える機会はほぼありません。本セッションでは、シリコンバレーや欧州企業の先進事例を現地で研究している桑島氏をお招きし、国際競争力強化について、「見えていないことを想像する」「横軸の開発体制」などをキーワードに議論を展開します。

桑島 浩彰 氏

東京財団主席研究員／
カリフォルニア大学バークレー校 ハース経営大学院
ハース・エグゼクティブ・フェロー／
株式会社K&Aソシエイツ代表取締役

15:45-17:00 講演③

イノベーション・ルーティン～全技術者がイノベーションを日常化するために～

なぜ現場でイノベーションが生まれにくいのか？

イノベーション実現のために全技術者がすべき習慣とは何か？

イノベーションは新規・既存事業に関わらず、全ての技術者に求められています。しかし、技術者は様々な常識や思い込みにとらわれて、イノベーションに向けた意識や行動ができていないのが実態です。本セッションでは、どのようにしてイノベーションに向けた習慣を日常業務に取り入れていくのか、R&D部門へのアンケートや知識創造理論の観点も交えながら紐解いていきます。

西原(廣瀬) 文乃 氏

立教大学経営学部 准教授
政策研究大学院大学 非常勤講師
ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社 取締役
日本ナレッジ・マネジメント学会 理事

17:15-19:00 交流会

参加者・講演者・JMACコンサルタントでフォーラムを振り返り、交流を深めましょう！

展示企画

技術者採用のトレンド ～「企業が博士課程修了生に期待する資質・能力・知識の実態調査」から～

博士課程修了生は、修士・学士卒業生と比べ長年の研究経験があります。そのため、研究開発部門の採用を行う企業は高い専門性やスキルを身につけた博士人材にも着目されているのではないのでしょうか。今回は、東北大学と実施した「企業が博士課程修了生に期待する資質・能力・知識の実態調査」の内容についてご紹介し、採用・マネジメントなど企業と博士課程修了生の関わり方について考えるきっかけとしていきます。

* 展示企画はフォーラム開催中にいつでもご覧になれます